

Ⅲ. 生徒指導研究部会	45
第1・第2委員会会員名簿	46
部活動10年をかえりみて	47
生徒研10年のあゆみ	48
第1委員会(生活指導)	49
第2委員会(教科外活動)	53

支 部 教 頭 会 活 動

各支部教頭会活動の執筆者名簿	57
Ⅰ. 各学科教頭会 研究活動10年のあゆみ	
普通科	58
工業科	60
商業科	62
農業科	64
Ⅱ. 各学区教頭会 研究活動10年のあゆみ	
第1学区	66
第2学区	68
第3学区	70
第4学区	72
第5学区	74
第6学区	76
第7学区	78
第8学区	80
第9学区	82
第10学区	84
島嶼地区	86
編集後記	88

第 1 学 区 10 年 の あ ゆ み

年度	◇幹 事 長 副 幹 事 長	学校教 会員数	主 な 活 動
平成 5年	◇關 正幸 元 鷲 宮 高 校 長 田口 政雄 元 小 岩 高 校 長 大野 仁士 元 大 崎 高 教 頭	19 校 19 名	定例会 11 回実施、情報交換等を行った。 ・勤務時間の割り振り・生徒の遅刻の扱い・公開講座 ・第 2 週 の 研 修 ・ 学 校 案 内 の 取 り 組 み ・ 定 期 考 査 開 始 時 刻 ・単独選抜への移行に伴う対応策・入学者選抜業務
平成 6年	◇安食 恒彦 元 広 尾 高 校 長 井之川正彦 元 桜 町 高 校 長 小野満禎子 元 成 瀬 高 校 長	19 校 19 名	定例会 11 回実施、情報交換等を行った。 ・PTA 会費・推薦入学・初任研・特昇システム・留学 ・私費雇いの職員・入選資料に関する中学校からの問い合わせ ・成績特昇・週一研修・教頭の加配・第 4 週 土 曜 日 の 対 応 ・新入生招集日・卒業証書の西暦問題・加員・加配 ・週 5 日 制 へ の 対 応
平成 7年	◇濱道 彰 元 広 尾 高 教 頭 磯部 清一 元 小 笠 原 高 校 長 磯山 進 現 竹 早 高 校 長	19 校 19 名	定例会 10 回実施、情報交換等を行った。 ・元号と西暦の取り扱い・進級・卒業規定 ・法務監察・出勤監察・PTA 会費教員負担・公開講座 ・IC 事業・学級減や習熟度と加配・研修日関係・特昇関係 ・推薦面接日の生徒対応・研修問題の各校対応 ・研修会活動の活性化
平成 8年	◇小松 邦江 現 府 中 高 校 長 小坂橋史彦 元 日 比 谷 高 教 頭 石井 隆夫 現 向 丘 高 校 長	19 校 19 名	定例会 11 回実施、情報交換等を行った。 ・第 35 回 全 国 高 等 学 校 教 頭 会 総 会 ・研究協議大会＝東京大会について ・新入生の招集日について・教頭の専決事項について
平成 9年	◇平田 晃 現 清 瀬 高 教 頭 橋本 隆司 元 八 潮 高 教 頭 安保 尚子 現 町 田 高 校 長	19 校 19 名	定例会 11 回実施、情報交換等を行った。 ・全国教頭会・研究協議大会について・中学生招集日について ・情報公開・教育管理職応訴費用貸付について

年度	◇幹 事 長 副 幹 事 長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 10年	◇高木 克 現文京高校長 富田 正次 現飛鳥高教頭 矢嶋 紀明 現蒲田高教頭	19校 19名	定例会 11回実施、情報交換等を行った。 ・全国教頭会・研究協議大会、特別委員会について ・事案決定アンケート
平成 11年	◇三枝 隆 現野津田高教諭 富田 正次 前年に同じ 小林 淑訓 現飛鳥高教頭	19校 19名	定例会 11回実施、情報交換等を行った。 夏季管外視察 三重県立昂学園高校、伊勢高校
平成 12年	◇野口 眞幸 現南高校教頭 武山洋二郎 現田柄高校長 木嶋 智恵 現人事部	20校 20名	定例会 11回実施、情報交換等を行った。 ・自己申告書の提出状況及び面接の取り組み ・総合的時間の取り組み ・授業観察の取り組み ・入学選抜の他学区限度枠、男女枠緩和 ・業務・服務監察の状況 ・民間の発想を取り入れた学校経営 ・自動車通勤に関する監査 ・期末考査終了後の授業の確保
平成 13年	◇小川 達夫 現国際高校教頭 湯澤 賢兒 現三田高校教頭 依田 賢一 現城南高校教頭	18校 19名	定例会 11回実施、情報交換等を行った。 今年度より都教委主催の教頭連絡会の後、教頭会ということになった。
平成 14年	◇小林 幹彦 現大森高校教頭 小池 幸彦 現大森東高校教頭 山中 豊 現つばさ総合高校教頭	18校 19名	定例会 7回実施(11月28日現在)、情報交換等を行った。 ・ティーチングアシスタントの活用 ・長期休業中における研修の取り扱い ・教科書の選定について ・ホームページの開設について ・教科「情報」の教員養成について ・司書教諭の配置について ・校内研修について ・習熟度別授業について ・防災マニュアル ・入学選抜の改善、自己PRカード ・主幹制の導入について
計	10年間で29名		

第 2 学 区 1 0 年 の あ ゆ み

年度	◇幹 事 長 副 幹 事 長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 5年	◇沼尻 浩 元松原高校頭 本間 孝 元新宿高校教頭 牛島 倫子 元八潮高校長	24校 24名	○第2週の研修についての協議・情報交換 ○新学習指導要領についての協議・情報交換 ○学校5日制についての協議・情報交換 ○学校視察 山梨県立塩山高校・巨摩高校
平成 6年	◇本間 孝 前年に同じ 橋本 隆司 元八潮高校教頭 茂木 誉子 元調布南高校教頭	24校 24名	○監査についての協議・情報交換 ○職員会議録開示についての協議・情報交換 ○学校視察 新潟県立国際情報高校
平成 7年	◇松岡 雅夫 元戸山高校教頭 重松文三郎 現蒲田高校長 橋本 隆司 前年に同じ	24校 24名	○職員会議録開示についての協議・情報交換 ○国旗・国家についての協議・情報交換 ○就職者応募用紙についての協議・情報交換 ○学校視察 長野県立長野工業高校 中野西高校
平成 8年	◇松村 勇 現国立高校長 重松文三郎 前年に同じ 小原 正俊 元武蔵村山東高校長	24校 24名	○継続研修についての協議・情報交換 ○服務監査についての協議・情報交換 ○学校視察 岩手県立盛岡第一高校 花巻農業高校
平成 9年	◇喜多村健二 現日野高等学校 楯岡 洋郎 元青山高校教頭 佐藤 美穂 現九段高校長	24校 24名	○応訴費用についての協議・情報交換 ○四者協議会についての協議・情報交換 ○青少年の非行とその対応についての研修会 ○学校視察 静岡県立小笠高校 焼津中央高校

年度	◇幹事長 副幹事長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 10年	◇斉藤八重子 元目黒高校長 平山 順一 現山崎高校長 清田秀左右 現田無高校教頭	24校 24名	○時間割編成についての協議・情報交換 ○管理運営規定についての協議・情報交換 ○職員会議録開示についての協議・情報交換 ○服務監察についての協議・情報交換 ○学校視察 京都府立嵯峨野高校 神戸市立六甲アイランド高校
平成 11年	◇納屋 信 現篠崎高校長 山中 政美 現東大和南高校長 大河内保雪 現蒲田高校教頭	24校 24名	○人事考課制度についての協議・情報交換 ○学校運営連絡協議会についての協議・情報交換 ○インターンシップについて
平成 12年	◇塩澤 幸雄 現武蔵野北高教頭 山下 貢 現八王子高陵高校長 木部 貞善 現豊多摩高校長	25校 30名	○成績特昇についての協議・情報交換 ○新学習指導要領についての協議・情報交換 ○総合的な学習の時間についての協議 ○教育課程の適正実施についての協議
平成 13年	◇山野 英雄 現国際高教頭 橋本 勝 現晴海総合高教頭 山下 貢 前年に同じ	25校 30名	○人事考課制度についての協議・情報交換 ○学校運営連絡協議会についての協議・情報交換 ○国旗・国家についての協議・情報交換
平成 14年	◇銅谷 新吾 現世田谷工業高教頭 梶野 茂男 現桜町高校教頭 中川 恵 現玉川高校教頭	24校 29名	○土曜補習について ○長期休業日の勤務について ○服務について ○新学習指導要領についての協議・情報交換 ○総合的な学習の時間について
計	10年間で29名		

第 3 学 区 1 0 年 の あ ゆ み

年度	◇幹 事 長 副 幹 事 長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 5年	◇森 嶺夫 元江戸川高校長 若林 明弘 元大泉高教頭 伊藤 明治 元日本橋高校長	23校 23名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会：計12回(学事視察1回、研修会2回、授業見学1回) ○教育庁連絡：進級卒業等相談室、宿泊を伴う学校行事届、成績の扱い、薬物使用、自殺問題、年度末諸問題、都議会での教育問題 ○研究協議：第2週研修、入学者選抜、学校説明会、全定合同教頭会、生活指導における全定の連携(全定合同教頭会)、四者連での課題 ○情報交換：服務監察、特昇、謹慎と欠席の扱い、ながら条例、講師任用 ○学事視察等：長野県立屋代高校、長野県立更科農業高校(農業高校の展望と課題、教育課題と学校経営)、小川畜産産業(株)、日立武蔵工場
平成 6年	◇武田 義仁 元光丘高教頭 上林 勇 元武蔵野北高教頭 野原 良夫 元東村上高校長	23校 23名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会：年間12回実施(学事視察1回、研修会2回) ○教育庁連絡：高卒の採用選考、大学入試実施要項、児童の権利条約、休業中の生活指導及び事故、文化祭の注意、学校五日制、技能検定、職員会議、スキー教室、生徒表彰、年末年始の生活指導 ○研究協議：推薦入試、週一研修、成績特昇、アルバイト ○情報交換：届け出書類、家庭科教諭、入選手続き日、服務監察 ○学事視察等：福島県立安積高校、福島県立福島南高校(魅力ある科の創設、進路指導、教育課題と学校経営)、(株)マルヤ(会社経営、人事管理)
平成 7年	◇吉田 秀男 元田園調布高校長 柴崎 勤 元豊玉高教頭 小林 洋子 元高島高校長	23校 23名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会：年間11回実施(学事視察1回、研修会1回) ○教育庁連絡：学校事故、個人情報、宿泊を伴う行事、アルバイト調査、就職指導、中途退学、いじめ、年間行事計画 ○研究協議：全定合同教頭会、週一研修、生徒の実態と生活指導、非常勤講師の時数申請・任用 ○情報交換：服務監察、生徒指導、指導要録の記入 ○学事視察等：宮城県立宮城野高校、宮城県立仙台第二高校(特色化と学校経営、危機管理と震災時の対策、進路指導と教育課程)
平成 8年	◇日高 富久 元東高校長 河西 紀雄 元日野台高教頭 楠原 隆 現小山台高校長	23校 23名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会：年間11回実施(内1回は学事視察) ○教育庁連絡：事故、市民講師、同和教育、薬物乱用、進級卒業等相談室、夏季休業中の生活指導、要録保存期間、継続研修、卒業証書の作成 ○研究協議：服務・監察、学校説明会、継続研修、O-157の件 ○情報交換：学区教頭会・全国大会役割、学事視察、宿泊を伴う行事、ゴミ有料化 ○学事視察：8月22日(木)・23日(金) 岐阜県高山市 県立斐太高等学校、県立高山高等学校(勤労体験学習推進事業の活動を視察する)
平成 9年	◇近藤 光男 元大泉学園高教頭 西澤 疆 元松原高校長 前 博之 現石神井高教頭	23校 23名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会：年間11回実施(内1回は学事視察) ○教育庁連絡：事務報告、就職内定率、健全育成等、都立高校改革推進計画、時間割編成上の課題、学期末の授業日の扱い ○研究協議：全国教頭会、学区教頭会、都教頭会、四者連絡会、行政監査 ○情報交換：学事視察について、監査、学校説明会 ○学事視察等：8月7日(木)・8日(金) 愛知県 市立董柳野高等学校、県立半田東高等学校(「市民レベル」での教育実践の在り方、学校間連携についての視察)

年度	◇幹 事 長 副 幹 事 長	学校教 員数	主 な 活 動
平成 10年	◇今濱 勝久 現上野忍岡高校長 中村 秀行 現 鮫 洲 工 校 長 村田 宏章 現豊多摩高教頭	23 校 23 名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会：年間 10 回実施（他 1 回は学事視察） ○教育庁連絡：事故対応、時間割り、管外出張、夏季休業の生活指導、継続研修、高校教育改革、情報開示請求件数と対応、管理運営規則、春季休業日変更届等 ○研究協議：全国教頭会、都教頭会、全国大会、教頭必携作成、学事視察、管理運営規則、授業公開、学修単位認定、企画調整会議、予算調整会議 ○情報交換：学事視察について、修学旅行調整、過労問題、三 P 連、将来構想 ○学事視察：8 月 6 日(木)・7 日(金) 岩手県 県立岩谷堂高等学校、宮城県 県立宮城野高等学校（学校視察を実施する）
平成 11年	◇寺嶋 幸子 元 荻 窪 高 教 頭 正角 良子 現 神 代 高 教 頭 筒井 邦夫 現代々木高校長	23 校 23 名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会：年間 10 回実施（内 1 回は学事視察） ○教育庁連絡：指導要録や出席簿の記入、学校外の単位認定、合宿の実施計画と休業中の生活指導、継続研修申請報告の不備、情報教育アドバイザー配置 ○研究協議：学事視察と教頭会の総会および研究協議、全国教頭会総務部会報告、勤務時間の割振りについての協議、12 年度教頭会行事予定 ○情報交換：業務サービス及び出勤、自動車監察と機械警備、卒業式の形態と国旗国歌、春季休業日の終期および学期末の特別指導期間の扱い ○学事視察：8/5～8/6 新潟県の特徴ある公立高等学校を視察（4 校）
平成 12年	◇亦木 一彦 現日本橋高教頭 木村 清治 現 永 福 高 教 頭 星野喜代美 現 富 士 高 教 頭	23 校 23 名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会：年間 11 回実施（内 1 回は学事視察） ○教育庁連絡：記念誌発行の校正グラフを指導部に提出、大学入学者選抜に伴う調査書の一部変更と調査書のワープロ作成、出席簿の男女混合名簿の調査、新教育課程の取り組みと通年の授業公開と授業日数の確保 ○研究協議：授業監察評価の観点、四者協連絡教頭会の要望と普通科教頭会研修 ○情報交換：教育課程委員会の構成要員と新教育課程の進展、自己申告書の提出及び授業観察と通年の授業公開の現状、修学旅行実施の問題点 ○学事視察：8/24～8/25 富山県の特徴ある学校を視察（2 校）
平成 13年	◇針馬 利行 現久留米高教頭 須藤 勝 現 深 沢 高 校 長 古山 光久 現大泉北高教頭 英 勇 元 西 高 教 頭	23 校 25 名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会：年間 10 回実施 今年度から教育委員会主催の全定合同の教頭連絡会 ○教育庁連絡：主幹制度の内容の説明があり質疑応答、服務事故防止について講話あり協議、平成 14 年度から年間授業計画を作成し生徒保護者へ公開 ○研究協議：教頭連絡会は出張及び他の教頭会は職免についての対応を協議、総合的な学習の時間について試行校より報告 ○情報交換：新聞発表での通年授業公開についての問い合わせ、司書教諭や情報教諭の免許習得講習会参加状況、期末考査後の授業の実施状況、学校 5 日制になったときの保護者会や PTA 活動の在り方や日程
平成 14年	◇今橋 美文 現 光 丘 高 教 頭 谷島 昭 現 鷲 宮 高 教 頭 澁谷 重雄 現 杉 並 高 教 頭	23 校 25 名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会：年間 11 回実施 ○教育庁連絡：ティーチングアシスタントの活用、授業公開日程を HP に掲載、学校運営連絡協議会外部委員連絡会の実施、「生徒による授業評価」に関するアンケート実施状況、校内研修の重点テーマと年間計画の届け出 ○研究協議：休業中の講習とグループ研修について各学校の取り組み状況、カードリーダー導入実施校の報告と昨年度の学校評価について各学校から報告 ○情報交換：中学生の学校見学（総合的な学習の時間）の取り扱い、1 学期末考査後の授業実施は環境整備が必要
計	10 年間で 31 名		

第 4 学 区 1 0 年 の あ ゆ み

年度	◇幹 事 長 副 幹 事 長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 5年	◇亀岡 良平 元南多摩高校長 中込 勝英 元竹早高校長 鈴木 國夫 元深川高教頭	19校 19名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間11回実施(内1回は学事視察) ○指導部連絡 新教育課程に関する予備調査について、初任者研修宿泊研修、個人情報保護と開示請求、国旗国家の扱いについて ○情報交換 在勤監察、PTA会費、PTA名簿について、航空機利用の修学旅行について、仮進級制度、産業医について ○学事視察等(8月) <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県立森高校(学校間連携) ・静岡県立周智高校(新しいタイプの職業高校) ・ヤマハ発動機(先端技術と生産・販売について)
平成 6年	◇加藤 直道 元葛飾野高校長 篠田 信雄 元都立大付属教頭 三浦 彌 元国立高教頭	19校 19名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間11回実施(内1回は学事視察) ○指導部連絡 情報開示とプライバシーの保護、児童の権利条約について、デートクラブ ○情報交換 出勤在勤監察、成績特昇、勤務評定、個人の健康診断表、勤務時間の割り振り、五日制とカリキュラム見直し、推薦入試面接法、男女混合名票 ○学事視察等(8月) <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県立第一女子高校(推薦入試について) ・宮城県立石巻商業高校(特色ある教育課程の編成、学校の活性化と教頭の役割)
平成 7年	◇高原 将 元東大和高校長 玉田 隆 元文京高教頭 楠原 絢子 元井草高校長	20校 20名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間11回実施(内1回は学事視察) ○指導部連絡 修学旅行の航空機利用およびマリン体験、出席簿の名簿の扱いについて、アルバイトの実態調査結果、H6年度中退状況 ○情報交換 全定合同教頭会、公開講座、売店・購買部について、成績特昇、嘱託員の待ち時数・勤務状況、交通機関スト時の対応について ○学事視察等(8月) <ul style="list-style-type: none"> ・富山県立中部高校(進学指導について)、 ・富山県立桜井高校(特色ある教育課程) ・YKK黒部事業部(人事管理について)
平成 8年	◇井島 正校 元板橋高教頭 岡田 光好 元北園高教頭 中村 澄隆 現紅葉川高教頭	20校 20名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間10回実施(内1回は学事視察) ○指導部連絡 O-157について、いじめ点検月間の実施、進級・卒業に関わる相談状況、性に関する補導・保護状況、生徒指導要録の保存・管理、生徒の薬物乱用、生徒カード・生徒指導資料の見直し、入試採点日の扱い ○情報交換 継続研修、土・日の練習試合、補欠募集、異動要綱、考査終了日 ○学事視察等(8月) <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県立各務原西高校(単位制について) ・岐阜県立益田高校(普通科・商業科併設校)
平成 9年	◇須永 孝 現淵江高校長 清水 巖 元豊島高教頭 小泉 功 現小金井北高校長	19校 19名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間10回実施(内1回は学事視察) ○指導部連絡 薬物乱用について、食中毒、情報開示、中途退学、パーティ券、継続研修、電話取材 ○情報交換 生徒の進級、年休処理、継続研修、出勤監察、事案決定、ゴミ処理、管理職等応訴費用貸付制度、異動、授業料の未納 ○学事視察等(8月) <ul style="list-style-type: none"> ・福島県立いわき海星高校(学校教育と地場産業等について) ・福島県立磐城農業高校 福島県立湯本高校

年度	◇幹 事 長 副 幹 事 長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 10年	◇矢嶋 邦男 元足立高教頭 渡邊 徳膏 元小石川高教頭 奥村美恵子 現紅葉川高校長	19校 19名	○定例会 年間9回実施 ○指導部連絡 ふれあい月間について、部活動事故防止、時間割の割り振りについて、教育課程届の事前相談、文化祭飲食物の扱い、毒物混合事件に関連しての薬品保管の徹底、職員会議録保存期間等、学校外の単位認定について ○情報交換 職員会議の扱い、PTA講演会、管理運営規程に伴う内規の改定について、職員会議録について、企画調整会議の持ち方、補欠募集の受け入れ、カンニング対応指導、パーティ券、予算編成について、交通事故防止の取り組み
平成 11年	◇宮島 二郎 現福生高校長 大山 邦夫 現雪谷高校長 矢島 賢治 現明正高教頭	19校 19名	○定例会 年間9回実施 ○指導部連絡 学校要覧の開示について、出席簿の氏名の扱い、学習指導要領移行措置、情報教育アドバイザー、部活動指導員、春季休業日の終期について、特別指導期間中の扱い、総合的な学習の時間、授業公開 ○情報交換 新学習指導要領、総合的な学習の時間、習熟度別授業、2000年問題、生徒台帳、私費会計、春季休業日の終期、国旗国歌、職員健康診断、学区PTA、文書管理、人事考課、情報教育アドバイザー、授業持ち時数、学習指導要領の移行措置、海外旅行、特殊業務手当、暴走族
平成 12年	◇野志 兼夫 現高島高教頭 梶野 茂男 現桜町高教頭 樋野 清治 現武蔵丘高校長	20校 22名	○定例会 年間11回実施 ○指導部連絡 出席簿の様式調査、事故報告 ○情報交換 国旗国歌、自己申告書の提出状況、面接の実施状況、修学旅行実地踏査、自己申告書の内容、授業観察、卒業生の事故に対する報道関係の対応、住民監査請求、早期選考、外国人講師、春季休業日の終期の取り扱い、出勤監査車通勤、スト対策、研究協議会の在り方、授業日数の確保、業務服務観察、2回目の授業観察、授業観察拒否者、指導要領移行、特別指導機関の取り扱い
平成 13年	◇森山 慎一 現足立高教頭 清水ゆかり 現向丘高教頭 田中 一彦 現板橋高教頭	18校 20名	○定例会 年間11回実施(教頭連絡会の導入) ○指導部連絡 チャレンジ目標の設定、希望降任制度、国旗国歌状況、期末後期間の適正な実施について、通年の授業公開の実施、都立の大学との連携アンケート、各教科科目の年間授業計画の作成について、教科「情報」設置予定、人事構想調査、成績会議・職員会議録の開示、スクールプラン研究指定校募集 ○情報交換 管理主事訪問、出勤車観察状況、教育課程編成基準説明会、五日制と保護者会の設定について、新教育課程対応
平成 14年	◇藤田 正美 現小石川高教頭 佐藤 克芳 現北園高教頭 小林 淑訓 現飛鳥高教頭	18校 20名	○定例会 年間11回実施 (内2回は23区、多摩地区に分かれての全大会) ○指導部連絡 周年行事の実施に当たって、ティーチングアシスタント(緊急雇用対策事業)について、授業公開日程、平成15年度入学生教育課程提出、教科書採択、「情報」「司書教諭」「主幹」の人選、タイムカード導入、学校運営連絡協議会外部委員連絡会、国旗国歌、生徒による授業評価 ○情報交換 年間授業計画作成・配布状況、授業観察後の指導状況、業務服務観察状況、長期休業中の服務について ※11月から指導部主導でテーマを決めての情報交換、第1回は「校内研修と授業改善」
計	10年間で30名		

第 5 学 区 1 0 年 の あ ゆ み

年度	◇幹 事 長 副 幹 事 長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 5年	◇高橋 國夫 元小岩高校長 横田 國夫 元深川高校長 高田 俊治 元足立高校長	20校 20名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間10回実施(内1回は学事視察) ○教育庁諸連絡 初任者研修、進級・退学に関する相談窓口、国旗・国歌の実施状況、出勤監察、都議会の質疑応答について、スキー教室の問題点、情報開示、各種協議会日程 ○研究協議・情報交換 週一研修、新教育課程、教頭会会費の値上げ、普通科教頭会研修、出勤監察の状況、役員人数の決定方法、総務部会の組織について、入学選抜、ながら条例、国旗・国歌の実施状況、全国教頭会東京大会について、都教頭会歓送迎会名称の変更について、研究集録の編集について ○学事視察 12月・宮城県立宮城広瀬高校(週五日制・月2回実施校)・宮城県立貞山高校(単位制・定時制併置校・家庭科男女共修校)
平成 6年	◇河井 寛 元青井高教頭 中嶋 繁輔 元白鷗高教頭 佐藤 昭一 元江北高教頭	20校 20名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間10回実施(内1回は学事視察) ○教育庁諸連絡 高指課異動について、教育目標および学校教育の課題について、文書管理、都議会の質疑応答について、宿泊行事の届出諸注意、児童の権利に関する条約、夏季休業中の生活指導について ○研究協議・情報交換 国旗・国歌の実施状況、推薦入試について、卒業に必要な修得単位について、成績特昇、出勤監察、週五日制・月2回実施計画の現状、学校間連携教育実践校の実情、第4週・週五日制への対応、学校開放について、総務部会報告 ○学事視察 12月・愛知県立半田高校(学校間連携教育実践校)・静岡県立浜松北高校(学校週五日制・月2回実施校)その他、ヤマハ楽器ピアノ工場等を視察
平成 7年	◇伊佐 進一 元神代高教頭 三浦 正尚 元福生高校長 矢島 紀明 元蒲田高教頭	20校 20名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間10回実施(内1回は学事視察) ○教育庁諸連絡 主任届について、周年行事該当校、文書管理の徹底、高校新規卒業者の採用選考について、文化祭での差別用語への注意、女子生徒の性非行、出席簿の氏名の扱い、アルバイト調査のまとめ、卒業証書の作成、調査書の発行について ○研究協議・情報交換 障害のある生徒の受験について、嘱託員の配置、服務通達について、調整休の取り扱い、日曜日のクラブ引率、学級減、出勤監察、時間割の報告の件、「成績率」見直しについて、「その他科目」の設置状況について、事務職ローテーション問題 ○学事視察 12月・新潟県立国際情報高校(文系・理系、大学進学率向上)・新潟県立十日町高校(7つの科目群、自由選択制)
平成 8年	◇長島 清志 元永福高校長 蛭川 岑夫 元足立高教頭 佐々木 寛 元足立西高教頭	19校 19名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間10回実施(内1回は学事視察) ○教育庁諸連絡 環境調査カードの提出、新規卒業者の採用選考と就職率、進路関係書類の改訂、病源性O-157への対応、薬物乱用の実態、生徒指導要録の保存・管理、体罰、中途退学者の調査結果 ○研究協議・情報交換 継続研修の申請・報告について、学校安全委員会設置状況、争議行為報告書上の留意点、承認研修の留意点、研究紀要の作成について、総合補償制度への加入、財務監察の実施内容・状況、教頭の処遇改善 ○学事視察 8月・神戸市立御影工業高校(震災直後の学校の対応、防災教育のあり方)・兵庫県立洲本実業高校(国際リゾート科の内容・設置の経緯)・京都府立嵯峨野高校(京都コスモス科の内容・設置の経緯)
平成 9年	◇矢口 雅章 元江戸川高校長 湯浅 友功 元足立西高校長 田口 政雄 元千歳丘高校長	19校 19名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間10回実施(内1回は学事視察) ○教育庁諸連絡 図書館担当の現状、同和研究協議会、健全育成推進協議会、ふれあい月間、長期休業日中の生活指導、盗難について、体罰について、薬物乱用・性逸脱行為について、危険なアルバイト、授業中の事故、管理運営規則、学期末の授業日 ○研究協議・情報交換 継続研修、メーデー、校長・教頭業務実態調査結果報告、サービスの厳正について、四者連絡協への要望について、業務監察の報告、中学生に対するPR活動について、校内職員日直、調査書委員会、習熟度に関する教育庁の調査について、生活指導について、訴訟敗訴時の賠償について ○学事視察 7月・愛知県私立黄楊野高校・愛知県少年院

年度	◇幹事長 副幹事長	学校教 会員数	主 な 活 動
平成 10年	◇北爪 幸夫 現墨田川堤高教頭 増沢 和夫 現深川高教頭 佐藤 栄 現葛西南高校長	19校 19名	○定例会 年間9回実施(他に、週休日に研修旅行を実施) ○教育庁諸連絡 学校経営等の調査、新卒者の採用選考、就職内定率、統一受験報告書の活用、ふれあい月間、健全育成推進協議会、長期休業中の生活指導について、文化祭、体育祭の指導について、生徒の表彰候補者の推薦、継続研修、教育課程届けの事前相談について、進級問題、生徒の問題行動、訴訟問題等について ○研究協議・情報交換 時間割の割り振りの例外について、出勤監査、体験入学、学校説明会への取り組みについて、全国大会への参加、勉強合宿の実施、台風に伴う措置に関する各校の対応、学校説明会参加の教員の勤務について、予算の編成、管理運営規程、情報開示請求
平成 11年	◇藤松 雄二 現小岩高校長 山際 勉 現東高教頭 出井 衛一 現足立西高教頭	19校 19名	○定例会 年間10回実施(他に、週休日に研修旅行を実施) ○教育庁諸連絡 研修会の日程、危機管理について、時間割に提出、新学習指導要領、学校外の学修単位、指導要録・出席簿の記入について、初任者研修、クラブ活動廃止、ホームページの開設について、総合的な学習の時間について、進路指導に関する調査、学期末に授業日の扱い、12年度春季休業日の終期について、情報教育アドバイザー、教育課程の検討について ○研究協議・情報交換 財務・服務監察について、新課程への移行措置について、機関警備への対応、新課程編成への進捗状況、体験入学の日程、必修クラブ廃止に伴う問題点、情報教育アドバイザーの有効活用、履修条件について、人事考課制度の推進について
平成 12年	◇菅又 勝雄 現小松川高教頭 松本 隆 現忠生高校長 磯部 直樹 現足立東高教頭	19校 21名	○定例会 年間10回実施 ○教育庁諸連絡 報告すべき事項と状況報告書作成要項、文書管理について、宿泊を伴う学校行事の実施報告、教育管理職研修日程、教務主任研日程、合同説明会について、総合的な学習の時間について、指導要録・調査書のワープロによる作成、進路指導の徹底、外国人英語指導員の授業配当時間について、「情報」現職教員等講習会 ○研究協議・情報交換 自己申告書、国旗・国家の実施状況、メーカー当日の日程について、機械警備への準備状況、授業観察・面接の各校の進捗状況、学校運営連絡協議会について、学校間連携、授業日数および時間数の確保について、12月3日実施の5学区合同説明会への準備・当日の体制
平成 13年	◇高田 幸一 現江北高教頭 石橋 忠治 元日本橋高教頭 飯田 幸男 現上野高教頭	19校 22名	○定例会 年間10回実施(9月は台風のため中止)この年から「教頭連絡会」と名称も変わり、都教委が主催する形となり、全定合同の会議の後で分かれて意見交換等を持つようになった ○教育庁諸連絡 校長連絡会の内容の再確認、新学習指導要領に基づく新教育課程の状況について、「情報」現職教員等講習会への応募状況、「司書教諭」講習について、学期末考査後の授業時間確保について、都立合同説明会について ○研究協議・情報交換 自己申告書・授業観察・面接等の「人事考課制度」について、学期末の日程について、外部評価・授業評価の実践、インターンシップについて、周年行事の準備について、10月21日実施の5学区合同説明会への準備・当日の体制
平成 14年	◇星野 裕史 現白鷗高教頭 荒川 兼一 現足立新田高教頭 國分 達夫 現晴海総合高教頭	19校 22名	○定例会 年間11回実施このうち2回(7月、12月)は区部と市部の二つに分かれての合同教頭連絡会) ○教育庁諸連絡 校長連絡会の内容の再確認、「情報」「司書教諭」について、長期休業中の研修、「主幹」制の導入、ながら条例の改訂、学期末の日程、総合の時間について ○研究協議・情報交換 長期休業中の研修の変更への対応・事務処理の工夫等について、主幹制度の導入、学校運営連絡協議会について、授業評価について、出勤時の「カード」の導入、ながら条例の改訂学期末の日程、総合の時間について ○意見交換 11月、12月、2月において全都で共通のテーマが提示され、それぞれが意見を発表すると共に意見交換を行った
計	10年間で30名		

第 6 学 区 1 0 年 の あ ゆ み

年度	◇幹 事 長 副 幹 事 長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 5年	◇羽下 延雄 元江戸川高校長 佐々木 寛 元足立西高教頭 渡邊 良夫 元城東高校長	27校 28名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間10回実施(内3回は学事視察) ○教育庁連絡 初任研、夏季休業日の生活指導、表彰、情報開示、盗難、都議会報告、進級・卒業に関わる指導 ○研究協議 入学者選抜、事故に係わる訴訟への対応、部活動引率、特殊業務手当 ○情報交換 在勤監察、週一研修、特昇、指導要録記載、ながら職免 ○学事視察 △6月 葛飾養護学校(養護学校の実践)・金町浄水場(水道事業と汚染)△10月 越谷総合技術高校(総合学科における産業教育)△12月 愛知県立昭和高校(複教教頭制)・旭丘高校(伝統校の実践)
平成 6年	◇井平 耕作 元大山高校長 堀切 芳巳 元大森東高校長 大平 勝 元青井高校長	27校 28名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間10回実施(内1回は学事視察) ○教育庁連絡 都議会関連、国旗・国歌、入選状況、研修会、教務研、生徒研、在日外国人生徒の指導、推薦入試、児童の権利に関する条約、中途退学、女子非行、情報開示、学校週五日制、いじめ、防災 ○研究協議 一日研修、休日の部活動指導、休業中の日直、土曜日事務室勤務状況 ○情報交換 推薦入学、監察、特昇、産業医、補欠募集、スト、四者協、いじめ ○学事視察 8月 山形県立山形中央高校(体育科等の特色化)・谷地高校(学校週五日制研究指定校)
平成 7年	◇遠井 満男 元墨田川堤高教頭 森下 昌夫 元城東高教頭 北村 正生 元向丘高校長	27校 28名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間10回実施(内2回は学事視察) ○教育庁連絡 高校改革、国旗・国歌、個人情報保護、いじめ相談、就職差別、高等学校改善白書、出席簿の名簿順、総合学科等の検討、アルバイト実態調査、中退者調査結果、いじめ点検月間、外国籍生徒の卒業証書 ○研究協議 教頭会東京大会、推薦入学生徒の追跡調査、事務ローテーション勤務 ○情報交換 産業医、監察、特昇、週一研修、推薦入試基準、PTA総合保障制度 ○学事視察 △7月 川崎総合科学高校・アサヒビール(工場見学)△12月 宮城県立宮城野高校・仙台第一高校
平成 8年	◇山本日出雄 元清瀬高校長 伊藤 寛 現青井高教頭 寺嶋 幸子 元荻窪高教頭	27校 28名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間10回実施(内2回は学事視察) ○教育庁連絡 文書管理、環境調査カード、薬物乱用、長期構想懇談会、夏季休業中の事故、女子高校生の非行、個人情報の開示、いじめ ○研究協議 継続研修、入試懇談会、ローテーション問題、四者協 ○情報交換 学校説明会日程、職員会議録、監査、不登校、文化祭のO-157対策 ○学事視察 △10月 海洋科学技術センター(神奈川県夏島の海洋観測施設見学)△12月 神戸市立御影工業高校(阪神大震災の避難所となった学校)兵庫県立宝塚北高校(公立高校で全国唯一の演劇科)
平成 9年	◇町田 昶 現保谷高教頭 鈴木 勝利 現江北高校長 上山 良昭 現駒場高教頭	27校 28名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間10回実施(内1回は学事視察) ○教育庁連絡 卒業生の就職、ふれあい月間、事故対応、体罰、初任者研修、会社訪問、体験入学の実態、時間割編成の課題、中途退学、体育事故 ○研究協議 特色ある学校づくり、四者連絡会、継続研修の取り扱い、特別指導期間中の欠席の扱い、学校事案決定事項 ○情報交換 パーティ券、個人情報保護、出勤監査、管外出張の復命、衛生管理者の選出、管理職の応訴費用、江東工募集停止、中退者の再受験 ○学事視察 9月 荻山実務学校(入所経緯・非行・処遇内容・校内見学等)

常任幹事 北爪 幸夫（墨田川堤）

年度	◇幹 事 長 副 幹 事 長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 10年	◇中嶋 喜文 元北野高校長 大澤 紘一 現青井高校長 多胡 静男 元東高教頭	27校 28名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間10回実施（他に学事視察1回） ○教育庁連絡 学校経営等の調査、ふれあい月間、統一受験報告書の活用、その他科目の設置申請、教育課程届の事前相談、職員会議録の保存期間 ○研究協議 あり方検について、四者連絡会の提案事項、業務服務監察、危機管理、マスコミ対応、管理運営規程、予算調整会議の進捗状況 ○情報交換 継続研修、出勤監査、学事視察、食中毒発生時の対処、宗教団体による布教活動、暴走族の落書き、会議録の記入、授業料未納と卒業認定 ○学事視察 8月 兵庫県神出学園（不登校対応）、常葉学園短大・静岡農業高校
平成 11年	◇辻 勇一郎 現荻窪高校長 長島 清志 現永福高校長 福井 利和 元小岩高教頭	27校 28名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間11回実施（他に学事視察1回） ○教育庁連絡 移行措置、学校外での学修、プール事故、学校設定科目、春季休業日の終期、学期末の授業の扱い、授業公開、学校運営連絡協議会試行 ○研究協議 国旗・国歌、学事視察、研究部会の活性化、機械警備、移行措置、必修クラブ廃止、総合的な学習の時間、人事考課、春季休業日の終期 ○情報交換 業務服務監察、授業料減免とPTA会費、城東高校甲子園出場報告、情報教育アドバイザー、授業公開、卒業単位、初任研 ○学事視察 8月 滋賀県翔陽高校（総合高校）、滋賀県立大学環境科学部
平成 12年	◇揚村洋一郎 現教育庁指導部 栗原卯田子 現本所高教頭 吾妻 完一 現水元高教頭	27校 30名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間11回実施（他に学事視察1回） ○教育庁連絡 総合的な学習の時間、情報・福祉免許取得、職員会議録の開示請求、早期選考防止、国立市立小問題、授業日数・時間の確保、国旗・国歌 ○研究協議 学事視察、機械警備、自己申告書、調査書起案、教頭複教制拡大、学校予算の弾力的運用、授業観察、学校運営連絡協議会、授業時間確保 ○情報交換 人事考課の取組み、自己申告面接時間、自動車通勤、6学区合同説明会、恐喝事件、36協定、都合同説明会、マラソン大会の医師の費用 ○学事視察 8月 山形県立米沢工業高校（学科改編）、東北大学（AO入試等）
平成 13年	◇國分 丈夫 現足立工業高教諭 網谷 厚子 現葛飾野高教頭 増沢 和夫 現深川高教頭	27校 31名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間11回実施（13年度から学区教頭会は都教委が新設した「教頭連絡会」の後に設定され、全定合同の「教頭連絡会」後、全定に分かれて実施。） ○教育庁連絡 学校運営の適正化、職員会議録の調査、主任辞令伝達式、通年の授業公開、東京ロケーションボックス開設、司書教諭の養成、現職研修四部試行、校内規定集、教員公募制、スクールプラン、服務事故防止 ○研究協議 土曜日対応、6学区合同説明会、総合的な学習の時間、年間授業計画の作成、期末考査後の状況、PTA総会の設定、主任制度中間まとめ ○情報交換 授業観察、6学区合同説明会、新教育課程、卒業式、「情報」の設置
平成 14年	◇北爪 幸夫 現墨田川堤高教頭 官田 茂 現江戸川高教頭 吉川 英雄 現城東高教頭	27校 31名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間11回実施（14年度から都教委は「教頭連絡会」の一部に学区ごとの開催ではなく全体会形式を導入した。） ○教育庁連絡 学校経営計画、「情報」講習、司書教諭養成講習、教科書採択、都立高校改革新実施計画、長期休業日の研修の扱い、主幹制度、服務事故防止、ホームページの開設、外部委員連絡会、生徒による授業評価 ○研究協議 長期休業日の研修、組織マネジメント、総合的な学習の時間、学校運営連絡協議会、中高連携、授業改善に向けた校内研修の充実 ○情報交換 高大連携、6学区合同説明会、年間授業計画、教科書採択、総合学習
計	10年間で30名		

第 7 学 区 10 年 の あ ゆ み

年度	◇幹 事 長 副 幹 事 長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 5年	◇山室 市正 元八王子東高教頭 小西 至 元日野高教頭 田中 昭光 元永山高校長	20校 20名	○研修(見学) △7月:大妻多摩高等学校見学 △2月:立川防災教育センター見学 ○主な報告・話題 △4月:入学式等における国旗掲揚、週一研修、国旗掲揚の状況報告 △6月:留学、水泳指導の問題点、休日の部活動指導 △7月:中高連絡会、監察(服務・出勤等) △10月:中退者調査、外国人指導員、総合補償 △11月:在勤監察、土・日の部活動引率、PTA 会員名簿・会費値上げ △1月:国旗・国歌、スキー教室講師任用、勤務の割振り、採点日の扱い
平成 6年	◇村山 和男 元町田高教頭 中島 正守 元南多摩高教頭 阿部 興 元神代高校長	20校 20名	○研修(見学) △7月:都立大学見学 △2月:都立科学技術大学見学 ○主な報告・話題 △4月:周年行事、修学旅行、文書の管理、推薦入試、国旗掲揚 △6月:人権への配慮、航空機利用修学旅行、校医の健康診断報償費、成績特昇 △7月:児童の権利に関する条約、個人情報保護制度 △10月:会議録の開示、都立大の社会人入学、学校週五日制への対応、争議行為への対応 △1月:卒業証書の作成、成績不振等の生徒の指導、名簿の発行について
平成 7年	◇深澤三千雄 元八王子東高教頭 英 勇 元西高教頭 米田 敏男 現三田高校長	20校 20名	○主な報告・話題 △6月:大島南高校水難事故、学級減、中学校訪問、周年行事 △7月:初任者宿泊研修、夏季休業日の生活指導、パーティ券、特別指導、修学旅行 △9月:アルバイト調査、教育課程について、情報開示、週一研修、開示請求、苦情電話 △10月:総合保障制度、週一研修 △11月:児童・生徒等の表彰候補の推薦、PTA名簿、服務・業務監察 △1月:週一研修、ローテーション勤務
平成 8年	◇中村 洋一 現豊島高校長 坂本 功 現青梅東高校長 榎本 成巳 現新島高校長	20校 20名	○主な報告・話題 △4月:修学旅行実施計画、指導要録の取扱、各学校・地域の状況、継続研修 △6月:薬物乱用、性非行、補欠募集、継続研修 △7月:進級等相談、就職状況調査、出勤監査、周年行事 △10月:体罰、生徒カードの問題点、異動要綱の解釈、ローテーション問題とスト対策、出勤監査 △1月:スキー教室、部活動、いじめ研究部会の活性化、防災マニュアルの検討
平成 9年	◇佐治 恒孝 現玉川高校長 藤井 文雄 現東村山西高校長 長沢 功一 現小平南高校長	20校 20名	○主な報告・話題 △4月:宿泊を伴う学校行事計画書、周年行事、事案決定事項の施行 △6月:報道機関への対応、ふれあい月間、特別指導の期間、中学生学校訪問への対応 △7月:子供から見た体罰、O-157、チャレンジスクール、特色化資料の送付 △10月:都立高校改革推進計画の活用、放置自転車クリーンキャンペーン、異動要項、管理職応訴費用の貸付制度

年度	◇幹 事 長 副 幹 事 長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 10年	◇牧野 玲子 元大森高校長 富岡 康夫 現永山高校長 細谷 七井 現秋留台高校長	20校 20名	○主な報告・話題 △4月：特別指導の方法検討、苦情の増加、高校生のマルチ商法、授業の割振りに関する例外、防災体制 △6月：暴力事件、進級問題の対応、特色化予算、防災無線、光化学警報、車通勤・復命書 △7月：東京ドームの券売、特別指導についての開示請求、新教育課程の編成 △10月：個人情報、公文書の開示請求、産業医と安全衛生委員会、管理運営規則、インターネット内規 △1月：生徒の退学等に関わる訴訟、教育課程の事前協議、企画調整会議・予算調整会議、都議の学校訪問
平成 11年	◇大矢 保雄 現狛江高教頭 山口 久夫 現八王子北高校長 河村 晴子 現小川高校長	20校 20名	○主な報告・話題 △4月：進級苦情、調査書の誤記、文書管理・報告すべき事項と主管課長、学校要覧の削除事項 △6月：暴走族と暴力団のつながり、人事考課についてのビデオ研修、職員検診の養護教諭の関わり、研修図書費、実習助手の要覧上の扱い △7月：プールでの事故報告、国旗・国歌の徹底、人事考課 △10月：情報教育アドバイザー、高校改革、卒業単位数、総合的学習の時間、休暇簿の職権記入 △1月：春季休業の終期について、必修クラブ廃止後の対応、部活動顧問
平成 12年	◇渡部 静夫 現忠生高教頭 坂田 敬一 現多摩高校長 町田 順 現人事部職員課 管理主事	20校 22名	○主な報告・話題 △4月：文書管理の徹底、入学選抜の改善等の要望、授業公開実施状況 △6月：指導要録の作成、機械警備、人事考課、部活動費増額申請 △7月：就職者早期選考、周年行事、中学生の学校見学の状況 △10月：国旗・国歌の取り組み、期末日程、新教育課程の取り組み △11月：新教育課程、服務（自動車通勤）、総合的学習（設定方法等） △1月：交通事故防止、大島南高訴訟、国旗・国歌の実施 ○その他 △5月：人事考課について南多摩高校長、甲田充彦先生からお話を伺う △8月：多摩地区教頭会夏季研修協議会福島県立清陵情報高校、福島東高校見学
平成 13年	◇津田 久枝 現清瀬東高教頭 宗像 敏夫 現八王子東高教頭 芝尾 仁 現南多摩高教頭	20校 25名	○主な報告・話題 △4月：教頭連絡会実施の主旨、合同学校説明会、車通勤、自己申告、面接、授業観察 △6月：教育課程編成基準・資料説明会、教科「情報」・司書教諭講習者募集、授業観察、授業公開、考査後特別指導日数 △7月：早期選考防止、土曜日の講習、土日のPTA活動、部活動費 △10月：火災発生の防止、「総合的な学習の時間」の導入、修学旅行対応、PTA私費職員 △11月：国旗・国歌の適正な実施、年間授業計画の作成、主任制度に関する中間まとめ、考査後の日程、PTA活動日 △1月：教育課程届説明会における質疑について
平成 14年	◇松浦 啓介 現山崎高教頭 磯村 元信 現町田工業高教頭 徳重 隆 現八王子北高教頭	20校 25名	○主な報告・話題 △4月：都立高校の経営改善、教科「情報」、ティーチングアシスタント、年間授業計画の保護者・生徒への周知、土曜出張の扱い、特認研修 △6月：長期休業中の研修の扱いについて、平成15年度使用教科書の扱いについて △7月：主幹級職選考について、学校経営計画について、公正な採用選考の推進について、教育課程実施状況調査について △9月：重点支援高選定の考え方について、指導力不足等教員への対応に関する指針について、長期休業中の研修について △10月：新実施計画、進学重点準備校、生徒の授業評価、ホームページ △11月：校内研修
計	10年間で30名		

第 8 学 区 10 年 の あ ゆ み

年度	◇幹 事 長 副 幹 事 長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 5年	◇石川 和昭 現 西 高 校 長 小島 和雄 元 南 野 高 校 長 富士 光男 元 南 平 高 校 長	19 校 20 名	○協議事項 (1)新教育課程週当りの単位数について (2)国旗・国歌について (3)都立学校の個性化・特色化について (4)卒業内規(卒業単位など)について (5)校内合宿について (6)入選に伴う校内での宿泊について ○施設等の見学・研修 (1)森永乳業多摩工場見学 (2)村山大島紬、武蔵村山資料館見学
平成 6年	◇小島 和雄 前 年 に 同 じ 堀 静男 元八王子高陵高校長	19 校 20 名	○協議事項 (1)国旗・国歌について (2)学校説明会の実施時期について (3)学校週五日制の土曜日の時間割について (4)いじめの問題について (5)教頭会活動の活性化について (6)週一研修の扱いについて (7)部活動予算について
平成 7年	◇堀 静男 前 年 に 同 じ 田村 雅俊 元調布南高校長 富士光男 元南平高校長	19 校 20 名	○協議事項 (1)修学旅行航空機利用について (2)服務監査への対応について (3)教育課程週時数について (4)指定休の変更の扱いについて (5)自家用車通勤について (6)学校評価について (7)研修日争議行為について ○施設等の見学・研修 (1)ワサビ地場産業、梅の資料館見学
平成 8年	◇和田 盛二 現小平高教頭 津田 稔 現農林高教頭 井口 武治 現砂川高校長	19 校 20 名	○協議事項 (1)ローテーション勤務について (2)午前中からの教頭会の実施について (3)ポケベルの問題について (4)継続研修の場所・報告書について (5)教頭連絡協議会の開始時刻について (6)O-157 問題について (7)PTA 活動について (8)土曜日の継続研修について (9)教頭の職務について
平成 9年	◇津田 稔 前 年 に 同 じ 井口 武治 前 年 に 同 じ 櫻川 紘久 現日本橋高校長	19 校 20 名	○協議事項 (1)教頭の事案決定事項について (2)慣例・慣行の見直しについて (3)防災マニュアルについて (4)来年度の時間割について (5)応訴費用貸付制度について (6)超過勤務に関する調整について (7)修学旅行の課題整理日の扱いについて (8)大雪の対応について

年度	◇幹 事 長 副 幹 事 長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 10年	◇江原美規子 現府中西高校長 海津 忠幸 現館高校長 長谷川 賢 現南野高校長	19校 20名	○協議事項 (1)転入学、編入学の扱いについて (2)個別研修について (3)在り方検討委員会について (4)授業公開の推進について (5)年休の電話受付について (6)開示請求について (7)体育施設の夜間開放について (8)教頭事案決定について (9)学校運営連絡協議会について (10)土曜日の出張の扱いについて (11)研究部の活動について
平成 11年	◇櫻川 紘久 前年に同じ 星 壽男 現保谷高校長 澁谷 重雄 現杉並高教頭	19校 20名	○協議事項 (1)文書管理について (11)主任研究協議会について (2)時間割の割振りについて (12)機械警備について (3)継続研修報告書について (13)春季休業日の終期について (4)新学習指導要領の取組み について (5)公文書の開示について (6)報道機関への対応について (7)産業医の活用について (8)人事考課制度について (9)学校外の学修について (10)情報教育アドバイザーについて
平成 12年	◇浅井 康明 現福生高教頭 恩田 実 現秋留台高教頭 浦部万里子 現東大和高教頭	19校 20名	○協議事項 (1)就職希望者の会社訪問について (2)合同合宿の引率について (3)教頭研究協議会の在り方について (4)授業観察について (5)大雨警報などへの対応について (6)運動部公式戦の扱いについて (7)研究部各委員会の活性化について (8)自家用車通勤について (9)期末考査後の扱いについて (10)教頭会の今後の在り方について
平成 13年	◇内田志づ子 現砂川高教頭 池口 康夫 現五日市高教頭 田村 國雄 現多摩工業高教頭	18校 21名	○協議事項 (1)学校運営連絡協議会について (12)「総合的な学習の時間」 について (2)学校運営の適正化について (13)服務事故について (3)授業料未納者の扱いについて (4)水泳事故防止について (5)教科「情報」講習について (6)学校ホームページの開設について (7)14年度からの保護者会等の扱いについて (8)在り方検討委員会の報告書について (9)文化祭の来校者の扱いについて (10)成績会議後の欠時の扱いについて (11)沖縄修学旅行テロ対応について
平成 14年	◇田中 透 現東大和南高教頭 根岸 潔 現多摩高教頭 小橋川和子 現武蔵村山高教頭	18校 21名	○協議事項 (1)土曜日の補習について (2)新カリ週時数、卒業単位数について (3)学校運営連絡協議会の状況について (4)長期休業日の研修の取扱いについて (5)教科書選定について (6)「総合的な学習の時間」について (7)グループ研修について (8)教頭会の活性化について (9)ホームページの開設について (10)校内研修の活性化について (11)学校説明会の状況について
計	10年間で24名		

第 9 学 区 10 年 の あ ゆ み

年度	◇幹 事 長 副 幹 事 長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 5年	◇八木 司雄 元日野台高教頭 清水 孝雄 元片倉高校長 松田 勝 元久留米西高教頭	17校 17名	○定例会 年間9回実施 ○研究協議 国旗、週一研修、代休・特勤手当、PTA総合補償制度、外国人指導員、履修と修得等 ○情報交換 出勤監査、業務監察、車通勤等 ○教育文化施設視察 東大農場・成蹊大学・明治薬科大学等 宿泊研修会 秩父(参加14名)
平成 6年	◇松田 勝 前年に同じ 坂理 泰幸 現南平高校長 牧野 玲子 元大森高校長	17校 17名	○定例会 年間9回実施 ○研究協議 卒業・入学式の国旗掲揚、家庭科男女共習、公文書開示等 ○情報交換 部活振替、特昇、推薦基準 ○教育文化施設視察 建設大学校・徳蔵寺、嘉悦女子短大・東京能力短大等 宿泊研修会 石和(12名)
平成 7年	◇坂理 泰幸 前年に同じ 村木 逸子 現調布北高校長 金子 豊 現東大和高校長	17校 17名	○定例会 年間10回実施 ○研究協議 同和講習会、全国教頭会東京大会の件、服務改正、教頭の職務等 ○情報交換 監査、服務について、四者連、その他科目等 ○教育文化施設視察 武蔵野女子大学、コココーラ東京工場等 宿泊研修会 千葉県茂原農業高校
平成 8年	◇村木 逸子 前年に同じ 佐藤 幸夫 現調布南高校長 鳴海 靖郎 現駒場高校長	17校 17名	○定例会 年間10回実施 ○研究協議 特別活動の引率と服務・手当、教頭職務の明確化等 ○情報交換 継続研修、出勤監査等 ○教育文化施設視察 小平高校新校舎、朝鮮大学校、田無高校新校舎等 宿泊研修会 作新学院高等部
平成 9年	◇神保 邦彦 現昭和高校長 大石 巧造 現狛江高校長 竹内 章 現両国高教頭	17校 17名	○定例会 年間10回実施 ○研究協議 事案決定手続、生徒カード、応訴費用貸付制度等 ○情報交換 転編入内規、入試方法、リスニングテスト、パーティ券等

年度	◇幹事長 副幹事長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 10年	◇上林 勇 元武蔵野北高教頭 斎藤 真理 現大泉北高校長 江見 悦子 現広尾高校長	17校 17名	○定例会 年間10回実施 ○研究協議 管理運営の改正に向けて、人事考課、年間行事 ○情報交換 開かれた学校、国旗・国歌、台風5号措置、講師 時数等、継続研修、時間割、「在り方検討委員会」など
平成 11年	◇百済 琢也 元小平南高教頭 小倉 幸夫 現国立高教頭 進藤 周治 現豊島高教頭	17校 17名	○定例会 年間10回実施 ○研究協議 行政監査、行事計画、人事考課制度について ○情報交換 9学区盗難、学校説明会、争議行為、機械警備、 特昇等、「東久留米総合学科高校」の在り方
平成 12年	◇町田 昶 現保谷高教頭 小久保正己 元久留米高教頭 堀江 徹 現北野高教頭	17校 18名	○定例会 年間10回実施 ○研究協議 周年行事、教頭会総会、入選関係、学校説明会、 授業公開等 ○情報交換 指導要録、車通勤、授業時数確保、出勤監査状況、 事故報告、トライ&チャレンジ等
平成 13年	◇清原 敬一 現国分寺高教頭 清田秀左右 現田無高教頭 石井 末勝 現小金井工教頭	17校 18名	◎本年度より「教頭連絡会」（田神 仁 指導主事） ○定例会 年間10回実施 ○研究協議 教育庁連絡 通年授業公開、週休日の部活動取り組み、車通勤、体験 入学、学校運営連絡協議会、総合的な学習の時間、14 年度土曜日の活用、沖縄修学旅行の変更(テロの影響)、 人事考課 管理主事「服務事故の対応と防止」
平成 14年	◇柴田 英男 現小平西高教頭 押尾 勲 現小金井北高教頭 下條 隆史 現田無工教頭	17校 18名	教頭連絡会（平沢・安正 指導主事） ○定例会 年間10回実施 ○研究協議 教育庁連絡 授業確保、学校運営連絡協議会・外部評価、学校評価の 説明、総合的な学習の時間、特色ある学校、学校説明会、 人事考課制度、主幹制度実施に向けて 等
計	10年間で27名		

第 10 学 区 10 年 の あ ゆ み

年度	◇幹 事 長 副 幹 事 長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 5年	◇芹川 一巳 元三鷹高校長 原口 宇平 元南野高教頭 多胡 忠治 現新宿山吹高教頭	15校 15名	○定例会 年間10回 ○指導部挨拶・連絡 事故報告、教育課程、生徒健全育成、生活指導、進路相談 ○報告・協議 幹事会報告、総務部会報告、研究部会報告、運営費標準検討委員会報告、入学選抜、多摩地区教頭会、全国教頭会、四者連絡会 ○情報交換 都議会、国旗・国歌、総合補償制度、生徒名簿、監察状況、学校説明会 ○研修 △立川勤労福祉会館(5月、12月) △多摩地区教頭会学事視察(8月 長野県立松本深志高校、同松本筑摩高校) △明星学苑(6月) △府中市生涯学習センター(9月) △国士館大学(10月) △中近東文化センター(1月)
平成 6年	◇増田 正夫 元日野台高校長 鈴木 義雄 元小山台高校長 小暮 公男 元南多摩高教頭	15校 15名	○定例会 年間9回 ○指導部挨拶・連絡 事故報告、航空機利用修学旅行、公文書開示、学校週五日制 ○報告・協議 幹事会報告、総務部会報告、研究部会報告、多摩地区教頭会、教育管理職の勤勉手当への成績率導入、学校週五日制と教育課程 ○情報交換 入学選抜、在日外国人生徒の教育指導、監察状況、学校説明会 ○研修 △府中グリーンプラザ(5月) △立川勤労福祉会館(12月)、△多摩地区教頭会学事視察(8月 三重県立木本高校、国立三重大学) △駒沢学園(7月) △白百合女子大学(10月)
平成 7年	◇青木 良 元武蔵丘高校長 前川 法久 元神代高教頭 鍵山 充尚 現武蔵村山高校長	15校 15名	○定例会 年間10回 ○指導部挨拶・連絡 事故報告、新規卒業生採用選考、交通安全、都立高校紹介 ○報告・協議 幹事会報告、総務部会報告、研究部会報告、多摩地区教頭会、部活動旅費、学区 PTA、文化祭、四者連絡会、同和教育講習会 ○情報交換 入学選抜、留学、施設開放、勤務条例、調整休、監察状況、週一研修 ○研修 △立川勤労福祉会館(5月) △八王子労政会館(12月) △多摩地区教頭会学事視察(8月 栃木県立宇都宮白陽高校、同氏家高校) △国際基督教大学(7月)
平成 8年	◇鍵山 充尚 前年に同じ 岡本 毅 元武蔵高教頭 金子 民造 現羽村高校長	15校 15名	○定例会 年間10回 ○指導部挨拶・連絡 事故報告、修学旅行、いじめ・体罰、健全育成、生活指導、文化祭・体育祭、その他科目、出席簿、指導要録、卒業・進級 ○報告・協議 幹事会報告、総務部会報告、研究部会報告、多摩地区教頭会、入選 ○情報交換 継続研修、PTA名簿、学校日誌、生徒指導、補欠募集、情報開示 ○研修 △八王子労政会館(5月、12月) △多摩地区教頭会学事視察(8月 新潟県立十日町総合高校、同柏崎高校) △東京都立南多摩看護専門学校(6月) △NTT 中央研修センター(7月)
平成 9年	◇小暮 通夫 現瑞穂農芸高校長 岸 秀雄 元深沢高校長 栗岩 淳一 現松が谷高校長	15校 15名	○定例会 年間10回 ○指導部連絡・指導 事故報告、ふれあい月間、修学旅行、生活指導、情報開示、マスコミ対応、いじめ・体罰、薬物、時間割基準、卒業・進級 ○報告・協議 幹事会報告、総務部会報告、研究部会報告、多摩地区教頭会、業績率導入、応訴費用制度、継続研修、障害のある生徒対応、四者連絡会 ○情報交換 休日部活指導、監察状況、異動要項解釈、代印処理、習熟度問題 ○研修 △八王子労政会館(5月、12月) △多摩地区教頭会学事視察(8月 神戸市立神港高校、大阪市立桜宮高校) △府中刑務所(6月)

常任幹事 錦織 政晴 (稲城)

年度	◇幹 事 長 副 幹 事 長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 10年	◇伊佐 進一 元神代高教頭 茂木 誉子 元調布南高教頭 和田 盛二 現小平高教頭	15校 15名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間10回 ○指導部連絡・指導 事故報告、体罰、文化祭・体育祭指導、教育課程事前相談、職員会議録、周年行事・記念誌、都議会、応訴費用、パーティ券 ○報告・協議 幹事会報告、総務部会報告、研究部会報告、多摩地区教頭会、時間割、管理運営・予算編成規程、安全衛生委員会、人事考課、四者連絡会 ○情報交換 災害時職員対応、台風措置、授業公開、単位認定、特別指導、留学 ○研修 △八王子労政会館(5月、12月) △多摩地区教頭会学事視察(8月 山梨県立身延高校、同甲陵高校)
平成 11年	◇佐藤 文雄 現府中西高教頭 千谷順一郎 現農業高教頭 三浦 彌生 元国立高教頭	15校 15名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間10回 ○指導部連絡・指導 事故報告、卒業式・入学式、時間割、文書管理、初任研、情報教育アドバイザー、高校改革計画第二次、学校運営連絡協議会、インターンシップ、授業公開、合同説明会、防災マニュアル ○報告・協議 幹事会報告、総務部会報告、研究部会報告、多摩地区教頭会、四者連 ○情報交換 企画調整会議、入学選抜、機械警備、人事考課、総合的な学習の時間 ○研修 △八王子労政会館(5月、12月) △多摩地区教頭会学事視察(8月 埼玉県立川越総合高校、群馬県立尾瀬高校) △学区研修会(3月、山梨県)
平成 12年	◇中村 澄隆 現紅葉川高教頭 綿田 直樹 現調布北高教頭 石坂 敦子 現日比谷高定教頭	15校 16名	<ul style="list-style-type: none"> ○定例会 年間10回 ○指導部連絡・指導 事故報告、情報・福祉教員講習、採用選考、周年記念誌、国立小問題、学期末考査終了後の教育活動、時間割、授業観察 ○報告・協議 幹事会報告、総務部会報告、研究部会報告、多摩地区教頭会、四者連 ○情報交換 学校徴収金、自己申告、学校運営連絡協議会、監察状況、機械警備、総合的な学習の時間、特別非常勤講師、時間割編成、教頭会のあり方 ○研修 △八王子労政会館(5月、12月) △多摩地区教頭会学事視察(8月 福島県立清陵情報高校、同福島東高校) △学区研修会(3月、静岡県)
平成 13年	◇和田 吉廣 現南野高教頭 伊藤 清 現狛江高教頭 松本 光正 現永山高教頭	15校 18名	<ul style="list-style-type: none"> ○教頭会 年間12回(定例11回、臨時1回) ○教頭連絡会(定例11回のうち9月会は中止)事故報告、スクールカウンセラー、自己申告等、新教育課程、期末考査後の扱い、総合的な学習の時間、海外修学旅行、学校運営連絡協議会、スクールプラン、現職研修Ⅲ部 ○報告・協議 幹事会報告、総務部会報告、研究部会報告、多摩地区教頭会、四者連 ○情報交換 教頭会関係サービスの扱い、多摩地区教頭会の発展的解消、業務・服務監察、機械警備、現職教員等講習、進学対応研修、PTA 活動の扱い ○研修 △八王子労政会館(4月) △学区研修会(3月、静岡県)
平成 14年	◇錦織 政晴 現稲城高教頭 橋本 昇 現府中東高教頭 立石 武則 現府中工業高教頭	15校 18名	<ul style="list-style-type: none"> ○教頭会 年間12回(定例11回、臨時1回) ○教頭連絡会(定例11回) 事故報告、高校改革新実施計画、学校支援委員会、入学選抜、司書教諭配置、ティーチングアシスタント、採用選考、教科書採択委員会、長期休業期間研修の扱い、主幹制度、重点支援校、新教育課程、生徒による授業評価、校内研修の充実、自律経営推進予算 ○報告・協議 幹事会報告、総務部会報告、研究部会報告、教頭会の活性化、四者連 ○情報交換 教頭会40周年、年間授業計画、生徒名簿、IT専門家、ホームページ ○研修 △学区研修会(3月、山梨県 予定)
計	10年間で29名		

島嶼地区 10年のあゆみ

年度	◇幹事長 副幹事長	学校数 会員数	主 な 活 動
平成 5年	◇津田 稔 現農林高教頭 須永 孝 現瀾江高校長	7校 8名	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回定例会 6月17日(木) 新宿「くらわんか」にて、教頭会総会のあと島しょ地区歓送迎会開催。OBの校長も参加。島嶼地区教頭会の運営について話す。 ○第2回定例会 8月9日(月) 立川にて。出席者9名 多摩研での研修会後の折りに行く。島しょ地区の教育課題について話し合った。 ○第3回定例会 9月6日(月) 予定が中止。時間的に開催が無理であった。ただ、電話やファックスで連絡をとっているの、心の絆は強い。
平成 6年	◇須永 孝 前年に同じ 橋本 喜一 元水元高校長	7校 8名	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回定例会 6月16日(木) 教頭会総会、歓迎会後に島しょ地区のみの会合を持った。OBの校長も参加。諸連絡。研修協議等を実施した。 ○第2回定例会 8月9日(火) へき地教育教頭研修会の終了後開催。各校の教育課題を中心に情報交換を行い。課題解決と今後の抱負について話した。 ○第3回定例会 9月12日(月) 予定中止。教頭研究協議会の後に実施する予定であったが、時程や各校の事情のため開催できず中止となった。
平成 7年	◇小関 健治 元町田高教頭 細谷 七井 現秋留台高校長	7校 8名	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回定例会 7年6月15日(木) 教頭会総会の後で開催する予定であったが、諸般の事情から2校参加できないので中止となった。 ○第2回定例会 7年8月8日(火) へき地教育教頭研修会の後に開催。各校の状況報告と情報交換を行う。 ○第3回定例会 9月11日(月) 時程の違いやその他の事情により、都合がつかず中止。各自で情報交換に努める。
平成 8年	◇村岡 薫 現大山高校長 松本 隆 現忠生高校長	7校 8名	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回定例会 8年6月13日(木) 教頭会総会の後に開催。自己紹介や7月の全国大会取り組みの諸連絡。各校の情報交換を行う。 ○第2回定例会 8年8月5日(月) へき地教育教頭研修会の1日目終了後に開催。これまでの状況報告と情報交換を行った。今後の課題について話し合った。 ○第3回定例会 8年9月9日(月) 教頭研究協議会には、各研究部毎に参加。島しょ地区の定例会は時程の関係で開催できなかった。
平成 9年	◇明石 健一 現拝島高校長 照井 千秋 現広尾高教頭	7校 8名	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回定例会 9年6月12日(木) 教頭会総会の当日の懇談会で自己紹介等を行った。地理的な関係もあり、他の学区のように十分な活動ができない。 ○第2回定例会 9年7月31日(木) へき地教育教頭研修会の折を利用して開催。各校の状況報告と情報交換を行い、各島独自の課題について話し合った。 ○第3回定例会 9年9月8日(月) 教頭研究協議会の後に予定していたが、実施できず、帰路の船の中で情報交換を実施した。

年度	◇幹事長 副幹事長	学校教 会員数	主 な 活 動
平成 10年	◇安田 健 現教育庁人事部 藤田 正美 現小石川高教頭	7校 8名	○第1回定例会 10年6月11日(木) 教頭会総会、研究協議会終了後、懇談会で顔合せを星陵会館で実施。 ○第2回定例会 10年7月30日(木) へき地教育教頭研修会(多摩センター)のとき開催。2時間ほど各島独自の問題や課題について話す。 ○第3回定例会 10年9月7日(月) 教頭研究協議会の後に予定していたが、時間の関係で開催できなかった。他学区に較べると活動は十分にはできない。
平成 11年	◇佐々木正文 現教育庁人事部 柴田 哲 現日比谷高教頭	7校 8名	○第1回定例会 11年6月10日 総会、研究協議会、懇談会に5名参加。今年から昨今の教育環境の急激な変化に対応するための上京の時に教頭会の開催を決定。 ○第2回定例会 11年7月1日(木) 都立教育研究所にて。参加者8名。各島の状況報告。とくに総合的な学習への取組。転学。生活指導上の問題を話し合う。 ○第3回定例会 11年7月29日(木) 都立多摩研究所。9名参加。 ○第4回定例会 11年9月7日(火) 九段高。新教育課程、人事考課など ○第5回定例会 11年12月7日(火) 立川高。当面する課題についての情報交換をした。他学区とくらべて回数は少ないが、更に充実させていく方針を打出した。
平成 12年	◇宮崎 高一 現武蔵高教頭 有馬 利一 現町田高教頭	7校 8名	○第1回定例会 5月15日(月) 都立教育研究所 9名。学校運営連絡協議会など。 ○第2回定例会 7月4日(火) 三田高 三宅島の火山活動、神津島の地震災害、新島の群発地震等について、災害時の対応など。 ○第3回定例会 9月11日(月) 都研 教頭研究協議会に合わせて開催。総合的な学習教科情報等を中心とした新教育課程などの取り組みについての意見交換。 ○第4回定例会 10月25日(水) 竹早高他。三宅高校からの一連の災害の対応の紹介。人事考課制度、秋川高校での避難生活など視察。 ○第5回定例会 12月2日(土) 小石川高、新教育課程の具体的取組みなど。
平成 13年	◇若井 文隆 現大島高教頭 相葉 玲 現神津高教頭	7校 9名	すべて教頭連絡会時に開催 ○第1回4月八潮高 教科「情報」、低学力生徒の対応等 ○第2回5月日比谷高 出張旅費、教科「情報」等 ○第3回6月一橋高 教科「情報」、授業観察・面接、考査後の授業等 ○第4回7月九段高 教員の島外研修の実態等 ○第5回9月鮫洲工 夏季休業中の報告、研修等 ○第6回10月雪谷高 「総合的な学習の時間」、島内出張、GW中の合宿等 ○第7回11月大森高 島嶼学校交流会、アンケート調査、期末考査後の日程等 ○第8回12月芝商 施設開放管理者、英語実習助手等 ○第9回1月都庁 交流会、校内規定、学校評価等 ○第10回2月田園調布高 スポーツ交流、旅費、PTA会費等 ○第11回3月つばさ総合高 年度活動の反省等
平成 14年	◇竹原 勝博 現八丈高教頭 武内 彰 現大島南高教頭	7校 9名	すべて定例の教頭連絡会時に開催 ○第1回4月芝商 出張旅費、今後の活動について ○第2回5月南高 PTA活動、教科「情報」等 ○第3回6月蒲田高 教職員の服務等 ○第4回7月公文書館 交流会、長期休業中の研修等 ○第5回9月鮫洲工 夏季休業の報告、島嶼P連大会等 ○第6回10月一橋高 司書教諭、文書管理、校内研修等 ○第7回11月日比谷高 校内研修の充実、防災対応について(1学区と合同) ○第8回12月都研修センター 土日の補習対策、年間行事計画等
計	10年間で19名		

編集後記

昭和38年、都立高校校務主任会（普通科教頭会）と各職業高校校務主任会（各職業科教頭会）が合同し「東京都立高等学校教頭会」が創設され、本年創立40年を迎えた。発足当時140校148名だった会員数は、東京都の高校教育に情熱を傾けた多くの先輩教頭のご尽力により、207校238名と増加した。今日、私たちが教頭職に専念できるのも、先輩諸氏の功績があつての事だと感謝している。

この「創立40周年記念誌」は、会長・副会長・研究部長・事務局の8名が編集委員となり、次のような日程と内容で編集を行なった。

- 4月11日（木） 第1回総務部会で創立40周年記念行事の骨子について報告
- 5月9日（木） 第1回幹事会創立40周年記念式典の開催内容について確認
- 6月13日（木） 創立40周年記念式典・祝賀会を挙行
- 7月4日（木） 第2回総務部会で記念式典・祝賀会の会計報告および記念誌発行についての説明
- 8月27日（火） 第1回編集会議でページ数・執筆者等研修内容の確認
- 10月10日（木） 第3回総務部会で、執筆原稿の依頼、個人写真等の写真撮影
- 11月7日（木） 第2回幹事会で中間報告と原稿締切り日の確認
- 1月9日（木） 第4回総務部会で原稿最終確認、2月に印刷依頼予定

ここ数年、教頭の研究活動に対する取組の姿勢が停滞している。東京都は生徒の多様化・少子化に伴う生徒数の減少などから、都民にとって魅力ある学校づくりを進めようと、平成9年に都立高校改革推進計画の概要を公表した。以来、人事考課制度や新教育課程の実施・学期ごとの授業参観、主幹制度の導入など、矢継ぎ早に高校改革を行っている。そのため、各学校では様々な課題が山積し、教頭は立ち止まって考える余裕がないほど多忙な毎日である。また、平成13年度から教頭の研究協議会も都教育委員会の主催から都立高校教頭会と都公立高校定通教頭会へと代わり、教頭会の運営や研究会参加などすべて出張から職免扱いとなったため、教頭が自校を留守にすることもままならないとともに研究活動への積極的な取組も取りにくくなってきた。

しかし、私たち教頭はそうした中でも研修を充実させ自己を研鑽し、教頭の資質能力の向上を図るとともに、組織として課題に対応する力を強化していかなければならない。管理研・高校研・生徒研はまさにその機会であり、これらの研究活動を停滞させてはならない。これからも、私たち教頭は大きな課題を抱えつつ、都民の期待に応えられる都立高校の実現に向けて頑張りたいと願っている。

最後に、創立40周年記念誌を発行するにあたり、都教育委員会の多大なご協力と、ご多忙の中、快く原稿を書いていただいた方々に感謝申し上げるとともに、事務局の先生方には資料提供から編集作業まで大変お世話になったことに改めてお礼を申し上げて、編集後記としたい。

副会長 坂本 文樹（小平南）